

黄城高

Ojyo News Letter Vol.51

CONTENTS

総会実行委員長あいさつ	1
会長あいさつ	2
校長および次期総会実行委員長あいさつ	3
各支部活動報告	4
卒業50周年を迎えて	6
後輩からの一言	7
合格だ！優勝だ！	8
投稿、お知らせ	9
会員寄付金の寄付者一覧	11
役員一覧、物故者、一般寄付金	12
会計報告	13
事務局通信	15

発行 ▶ 令和3年7月1日
 発行所 ▶ 黄城会
 発行人 ▶ 外尾 美好
 印刷 ▶ 株式会社音成印刷



今を生きる～新しい時代を感謝と共に～

コロナ禍での総会を終えて



2021年度総会実行委員会

実行委員長 田中 雅久
(高校48回)

令和3年5月3日（月）に2021年度黄城会総会を無事、終了することができました。

関係者の皆さまには、御協力、御支援をいただき感謝を申し上げます。

今年度の総会は、コロナ禍での開催となり、人数を制限し、式典も大幅に短縮して、開催することとなりましたが、会長を始め、多くの皆さまの御理解で総会と黄城の集いを開催することができたことを実行委員一同よりお礼を申し上げます。

また、卒業50周年を迎えられた高校23回卒の皆さまにおかれましても、人数を制限してのお祝いとなりましたが、御理解いただき感謝しております。

昨年、卒業50周年を迎えられる高校22回卒の皆さまと実行委員であった高校47回卒の皆さまにおかれましても、卒業51周年を祝う会と2020年度実行委員長の挨拶、総会の議長について、快く引き受けていただき感謝しております。

今回の総会は、高校47、48、49回卒の3学年で対応したことや卒業50周年、51周年を同時にお祝いできたことは、記憶に残る総会と黄城の集いになったと思っております。

スローガン、『「今」を生きる～新しい時代を感謝と共に～』を掲げ、今できることを考え、なんとか総会を開催し、次に繋げることを大切にしてきました。

資金などの制約もあり、実行委員の手作りが多くあり、十分な対応ができていない部分も多々あったと思いますが、コロナ禍での対応ということで、御了承いただければ幸いです。

コロナ禍では、我々、実行委員会の活動も制約が多く、なかなか思ったような活動ができませんでしたが、同級生のおかげで無事、総会を終えることができました。

各支部の総会も中止となり、高校48回卒は、各支部へ挨拶ができないま

まとなっております。当日の黄城会総会の様子をお伝えしたく、ホームページで映像を準備しました。こちらで当日の様子を感じていただければと思います。

コロナ禍での総会準備は、苦勞も多くありましたが、貴重な経験ができたことは、関係者の皆さん、すべてに感謝しております。新しい時代を感謝と共に進めていくことができました。

本当に、ありがとうございました。

48期の活動記録をご覧ください。





ごあいさつ

黄城会会長
外尾 美好

創立122周年の令和3年度を迎え、全国各地の会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。

小城公園の桜は、いつもよりずいぶん早く開花して花見客を迎える準備ができていましたが、コロナ禍のために出店も少なく公園内を彩る「ほんぼり」もないため、盛り上がりには欠けたものでした。いまは、樟の若葉が青々と茂り夏の訪れを待っています。祇園川のホタルも昨年夏の豪雨の影響のためか、今年は少なめに飛んでいたようです。

5月9日、10日は、オリンピックの聖火リレーが佐賀県内を通りました。小城市は10日に小城駅から千葉城趾下の村岡総本舗までの2キロメートルほどで、コロナの感染防止のため沿道での応援はしないように通達があっており、応援にも行けず残念でした。

さて、今年度の黄城会総会は、恒例の5月3日に開催しましたが、コロナウイルス感染症拡大を考慮して母校の体育館ではなく小城市まちなか市民交流プラザ「ゆめぶらっと小城」で、開催時間もプロ

グラムも例年のものより縮小した午前中だけの黄城会総会になりました。開催に当たっては、黄城会総会を絶やすことはできないとの熱い思いから、2年続けての中止は絶対に避けたいと実行委員会の皆さんが取り組まれた成果だと思っています。

スローガンに、『「今」を生きる～新しい時代を感謝とともに～』を掲げ田中雅久実行委員長を中心に、厳しい開催条件にはすばらしい総会となりました。あらゆる面で縮小した総会ではありましたが、今年度の総会を総括して来年の総会をよりよいものにしていければと考えています。

昨年の総会が開催直前に中止になってからは、前実行委員会との引き継ぎも十分にはできず、新型コロナ蔓延防止対策で総会会場を変更せざるを得なくなるなど厳しいスタートとなりました。また、実行委員会の打ち合わせ会議も十分な体制が整わないばかりか、一堂に集まることもできず、リモート会議で実行委員会を行うなどご苦労があったと聞いております。

また、取りやめとなった饅頭会は残念でしたが、今年度はやむを得なかった措置とご了解いただけたことと存じます。

今回の総会は、高校47回卒が総会議長を担当し、48回卒の実行委員会に、49回卒の副実行委員としての手伝いを得て、3学年で対応して運営に当たったことや、卒業50周年（23回卒）は20人ほどに、51周年（22回卒）は10人ほどにご参加の規模を制限させていただいたことは残念でしたが、昨年積み残したお祝いも同時にお祝いできたことは、記憶に残る総会であったと思っております。ただ、小城高等学校の生徒会活動報告や吹奏楽・合唱部の練習成果に触れることができなかったのが残念でした。

新型コロナのワクチン接種が進み、年末までには完了する方向が示されてきました。新型コロナの流行が収まってくれば、今年度の各支部総会を開催する支部も増えてくるものと期待して、黄城会とともに来年に向けた49回卒の活動に拍車をかけていけたらと希望しています。

最後になりましたが、黄城会の発展と同窓の皆さまのご健康とご多幸を祈念申し上げ、会報発刊のあいさつといたします。



黄城会総会 卒業50周年を祝う



母校だより ご挨拶と近況報告

校長
平川 聡

令和2年度より、小城高校校長を拝命しております平川聡です。黄城会の皆様には、日頃より奨学金の給付や黄城会館の利活用に対するご配慮などを通して、現役生徒の教育環境の充実に多大なるご支援を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

令和2年度の小城高校は、他校同様、新型コロナウイルスの感染防止対応に翻弄され、学校行事や教育プログラムの中止や延期をせざるを得ない状況が続きました。特に、全国高校総体と夏の全国高校野球大会の中止決定は、これらの県大会を高校生活最後の舞台と考えてきた3年生たちにとって、何とも言えない辛い思いを与える結果となりました。幸いにも、佐賀県教育委員会の計らいで、その代替となる大会が開催され、

多少はモヤモヤとした心の曇りは晴れたように感じましたが、九州大会や全国大会への出場を目指していた生徒にとっては、物足りなさや喪失感を感じたのではないかと心配になりました。

8月の後半からは、感染症対策を十分とった上で、少しずつ学校行事が実施できるようになりました。心配された小城高祭も、来場制限や内容の一部変更等を行っただけで、ひと通り実施することができました。また、オンリーワン発表会、先輩による講演会「ようこそ先輩」も、11月～12月にかけて実施することができました。

このように、「感染症対策を十分講じた上で」という但し書きは付きつつも、11月頃には学校行事もほぼ例年通り実施できるという手応えを感じていました。

しかし、「油断は禁物」なのがこのウイルスです。第2波のあとも3波、

4波と感染拡大の波が押し寄せ、今度は2年生が楽しみにしていた修学旅行ができなくなってしまいました。

このように、生徒も教員も、新型コロナウイルスに振り回された1年でしたが、その状況の中にあっても、生徒諸君は目標を見失わず、ひたむきに努力を続けてくれました。3月に卒業した3年生の進路状況は、例年に負けない良い結果を残してくれましたし、2年生、1年生についても、それぞれここまで順調な経過をたどっています。部活動についても、運動部・文化部共に、小城高生らしい澁瀾とした活動を見せてくれています。

「コロナ禍」と表現される現状にあっても、学校は生徒の健やかな成長を期して、教育活動を続ける責任があると考えています。安心・安全で持続可能な小城高校であるために、今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

来年の黄城会総会に向けて



2022年度総会実行委員会

実行委員長 上瀧 賢治
(高校49回)

黄城会会報の過去の実行委員長寄稿文を読み返し、不安をかかえながらの饅頭会、達成感とみなさんへの感謝の念を抱いた総会と、改めて大変な役を引き受けたと実感しております。

今年は本来であれば饅頭会を担当すべき回期でしたが、コロナ禍で中止となり、総会の前日準備と当日運営の一部に携わらせていただきました。例年とは違う形での総会となり、会場レイアウトなどすべて一から作り上げられた48期の先輩方の企画力を目の当たりにし、自分たちにできるだろうかと不安がより一層大きなものとなりました。48期の先輩方には、引継ぎを兼ね私たちにもお声掛けいただき、終了後には労いと御礼

の言葉をかけてもらい、改めて先輩方の優しさに触れた気がします。ありがとうございました。

また、総会の中では、昨年、中止の決断をせざるを得なかった47期の先輩方の思いを受け継いだ配慮が随所に見えました。47期実行委員長の挨拶では、自分たちが総会を行えなかったことへの悔しさより、卒業50周年の先輩方をお祝いできなかったことへの無念の思いが伝わってきました。黄城会の伝統と絆の一端を見ることができ、総会に対する先輩方の思いを強く感じたところです。

来年に向け、これから準備を進めていきます。現段階で1年後どのような情勢となっているか見通すことは困難ですが、その情勢を見据えて、

できる範囲での総会運営となることと思います。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

高校卒業後24年が経ち、高校時代の仲間がそれぞれの経験の中で成長してきていると思います。今回の黄城会総会を行う中で、仲間の成長に刺激をもらい、切磋琢磨する中で自分自身も成長できるいい機会をいただけたと感謝しております。仲間と共に楽しんでやりきります。50期の後輩へしっかりとバトンを渡すべく、49期みんなの力を合わせ来年の5月3日に向け準備を進めてまいりますので、ご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。



関東支部

関東支部総会の開催をはじめとして恒例となっている春と秋の散歩の会開催、ならびに小城高校で開催される総会への出席を以下のとおり計画していましたが、2020年はコロナ禍の影響により自粛生活を余儀なくされ、まことに残念ではありましたがすべてが中止となってしまいました。

2020年（令和2年）度・活動計画

- 4月4日（土）第17回散歩の会…春の桜鑑賞会の開催
- 5月2日（土）黄城会本部・全国支部連絡会議（黄城会館）への出席
- 5月3日（日）黄城会総会への出席
- 8月下旬（日）関東支部総会の開催
- 10月24日（土）第18回散歩の会…秋の紅葉観賞の開催

2021年（令和3年）度こそは仲間たちとの絆を深める機会として何とか関東支部総会をはじめとして春と秋の散歩の会開催等を計画しています。

（関東支部幹事長

高校20回 光石 信幸）

中京支部

黄城会中京支部の活動に日頃より多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。

私ども中京支部も皆様同様、総会開催は元より役員会や親睦会も新型コロナの感染防止のためにすべて中止といたしました。

その中ではありますが、支部長力武の承諾のもと、支部の中でも若い世代数名でリモートによる打合せ（と称したりリモート飲み会）を試験を兼ねて開催したり、電話やメールで互いに連絡を取り合うなどして、次回の支部総会に少しでも備えるべく普段よりは少ない回数ではありますが活動しております。

おそらく本年もこれまで通りの活動や総会開催は難しいのではないかと想定しております。今後はこのような状況が普通になるとも思われますので、それに順応した活動を行えるよう基本的なことから再考しているところであります。

本部・各支部におかれましても同じ状況下の中で様々な試行錯誤を行い成果に繋がられるかと思っておりますので、ぜひともその内容を共有させて頂き、今後の黄城会活動に役立てていただければと思っておりますので、これまで以上のご協力およびご支援を何卒宜しくお願い致します。（中京支部事務局長 高校40回 堤 淳）

関西支部

関西支部では、令和2年度総会を9月に予定していましたが、7月に中止を決定し、その旨を本部のHPに掲載しました。引き続き支部広報を発出しましたが、本来支部総会の案内であるべきものが、総会の中止のお知らせ、新役員の挨拶、会計報告などを記載したものになってしまいました。ただ支部活動を身近なものに感じて頂けるよう、支部会費を納入頂いている会員全員に、岡本副支部長作成のDVD（前年度総会風景や関西の四季動画で構成）を、また卒業50年を迎えた高校22回の方には記念品もお贈りしました。支部総会が開催できなかったにも拘らず、大勢の方から御寄付や支援のお言葉を頂き感謝しております。役員会・幹事会が全くできないうちに令和2年度は終わってしまいました。コロナウイルスの収束が見通せないなかですが、会員の皆様に喜んで頂ける支部のあり方、また可能な範囲での総会開催を模索していきたいと考えております。

（関西支部事務局長

高校20回 内田 敏博）

関門・北九州支部

総会は11月15日（日）リーガロイヤルホテル小倉にて予定しており、ぎりぎり

まで例年通り準備を進めてまいりました。しかしながら新型コロナ感染流行の終息が見えない中更なる長期化、拡大の恐れも危惧されました。つきましては当支部先輩の方とも相談し、誠に残念ではありましたが支部委員の皆様、学校、本部からお越し頂く方の健康・安全最優先の観点で「開催中止」とさせて頂きました。

今年度黄城会総会（2021年5月3日）につきましても地元在住の方々を中心とした規模縮小となり、私としても出席させて頂く事ができずに重ねて残念でした。今年度の関門・北九州支部総会開催につきましては今後のコロナ感染状況を踏まえ、検討させて頂く所存です。また、この場をお借りしまして、黄城会会員の皆様方、関係者の皆様方のご健康を心より祈念致します。ご報告とさせて頂きます。

（関門・北九州支部支部長兼事務局長

高校29回 山口 孝美）

福岡支部

福岡支部は令和3年3月現在、休眠の状態です。

令和元年10月、高校46回卒実行委員会の運営の下、例年通り支部総会、同窓会の運営が無事開催されましたが、これを最後に、新型コロナ感染防止の観点から、以後活動を自粛しております。

今年の10月は支部総会、同窓会の再開を予定し、会場を確保済みですが、収束しないコロナ禍騒動の中、これまでのような100名を超える規模での集会、更には会食を伴う同窓会が開催できるのか、大きな懸念を感じております。

今後は、支部役員会、幹事会、高校46回、47回卒、また、今年の当番回期となる高校48回卒会員の意見を集約し、8月頃までには開催、その様式について決めて行きたいと考えております。

末筆ながら、黄城会の弥栄と会員諸兄弟のご健勝を祈念致します。

（福岡支部幹事長

高校26回 古賀 省吾）

唐津支部

唐津支部におきまして、令和3年2月に予定していました令和2年度総会を中止させていただきました。

例年、5月の黄城会総会同様に支部総会において、支部会員や本部役員、近隣支部の皆様との交流、校歌斉唱を楽しみにされていたところでしたが、来年2月の令和3年度総会開催まで全てを先延ばしになりました。

令和2年度の支部活動は、役員会のみとなりましたが、支部総会を中止とする案内にあわせて、会費納入、運営寄付をお願いさせていただき、多くの支部会員からの支部活動に対する想いが集まったところです。

令和3年度黄城会総会が縮小して開催される中に、唐津支部におきましても対策を講じながら、令和4年2月上旬（第1日曜日）に皆様をお迎えさせていただきます。

(唐津支部事務局長

高校43回 濱村 宜弘)

多久支部

平成の始まりとともに黄城会多久支部は発足しました。今日まで33年の歴史を刻んできましたが、33回目となる今回の支部総会は、コロナ禍における現在の状況では中止せざるを得なくなりました。

支部総会は、毎年2月の第2日曜日に開催しています。本来であれば、令和3年の今年も2月14日に会員の老若男女が集まり、世代を超えて親交を深める場となっているはずでしたが…。

さて、2月14日は、バレンタインデーです。日本での始まりが1960年代と聞いています。残念なことに、私の青春時代には流行っていませんでした(笑)。

28年前の第5回支部総会も2月14日でした。その時のアトラクションを当時の実行委員である江里口女史が企画され、参加者全員に配布されたバレンタインチョコの味が懐かしく思い出されます。

(多久支部元事務局長

高校23回 古賀 通雄)

県庁支部

令和2年度の県庁支部総会は、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いた時期に開催しようと企画・検討しましたが、最終的には、苦渋の決断ではありましたが、開催を見送りました。

県庁でも、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対応の1年でした。県庁支部の会員は、県のような部署に在籍しており、保健福祉事務所や健康福祉部といった最前線での対応ばかりでなく、コロナの影響で落ち込んだ産業振興や農業振興などの分野でも、現在もそれぞれ頑張っており対応しています。

そのような状況であるため、支部会員相互の交流など支部活動はほとんどできませんでしたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症が終息し、無事に支部総会を開催できることを願っています。

(県庁支部支部長

高校32回 神代 芳男)

長崎支部

12年間の活動休止期間を経て、長崎支部は2015年度の12月に久しぶりの支部総会を開きました。以前の長崎支部総会は長崎市とそれに隣接する時津町、長与町、諫早市在住者などの集まりという感じでしたが、再発足に際しては県内で同窓会員が一番多い佐世保市を含むすべての長崎県在住者に案内状を出しました。その翌年からは離島などの在住者はやはり出席は無理だろうということとか、案内状に対して返事がなかった方にはやはり案内状を出しても無駄ではないかということなどを考慮しました。その結果再発足後に実施した過去5年間の案内状送付数、支部総会出席者数その他は表のようになりました。また会場も長崎、佐世保両市から電車で乗り換えることなく来ることができる長崎県の中央に位置する諫早市を選んできました。

表の数字に見るように2017年度をピークに参加者が漸減の傾向にあることを一番憂慮しています。再発足の第1回目から催し物として頭の体操、連想式福引き、

年度	案内状送付数	返信数	未返信数	支部総会出席者数(そのうちの長崎県在住者)
H27(2015)	*217	117	100	25(16)
H28(2016)	74	63	11	30(20)
H29(2017)	107	69	38	35(24)
H30(2018)	100	76	24	30(16)
R元(2019)	130	83	47	29(18)

*黄城会事務局から送付された名簿に「総会案内不要」と付記がある方を除く全員の数

踊り、二胡の演奏、詩吟など、また2018年度からは元小城高校校長の藤井伸幸さん(27回生)の貴重な講演などを折り込んで、多彩な内容に努めてきたつもりでしたが…。

コロナ禍のなか2020年度は支部総会が開催できなくて、2021年度の開催も未定とせざるを得ません。従って支部の活動も1年半近く全く行っていないという状況です。

しかし先日古川正人支部長と話して、次の総会に向けて何らかの手を打っておく必要があるということで、今後①過去5年間の出席者に黄城会本部や長崎支部の状況をかいつまんで記した文書を送ろうということ、②再発足にあたり中心的な役割を果たした諫早市在住者とそれにプラスして大村市在住者の集まりを開催

して、今後の対策を練ったかどうかというこの2点を確認したところでした。

2019年度の支部総会の出席者では、旧制小城中学にも学んだ方がついに1人となりましたが、その方はまだまだお元気で支部総会の再開を心待ちにしておられます。そういう方を含め70代、80代の方々にもなんとか継続して出席してもらえよう、そしてまたそれよりも若い世代の出席者を増やすにはどうしたらよいか、さらにはまた以前の長崎支部の歴史を引きずっているのか、佐世保市からの出席者が極端に少ないのをどう打開していくのかなどを考えながら、これからも長崎支部の燈を赫々とかがけていく必要があると思っています。

(長崎支部事務局長

高校10回 大石 太)

23回生 卒業50周年を迎えて



高校23回
南里 信幸

思い起こせば1年前の令和2年4月第1回理事・監事会で、コロナ感染拡大予測の中、2020年黄城会総会の中止が正式に決まった。席上担当47期の実行委員長は「必要な準備は全部終わっています。何と言っているかわからないほど残念です。」そして声を詰まらせながら、最後に「22回生の卒業50周年を祝ってあげられないのが残念です」と述べた。その言葉が心に残った。しかしこれでコロナは終息せず、次年度自分たちの卒業50周年も、大きく影響を受けることになることは、毛頭思ってもいなかった。

さらに思い起こすこと7年前、私

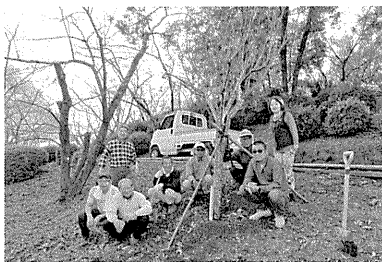
は退職を機にそれまでの自分を振り返り、反省したことの一つが黄城会への関わりだった。担当回期などほとんど関わっていない。黄城会のために今からでも出来る事をしようと考え、「5年間黄城会総会と同窓会に毎年出席する」という目標を立てた。そしてそれは6年続いた。そんな中、毎年卒業50周年を祝っていただく百名余の先輩方が、体育館壇上に上がられる姿に、やがて自分も同級生らと壇上に上がり、お互いを祝い合いたいと思うようになった。しかしコロナ禍の中、7年目の昨年が中止となり、まさに青天の霹靂であった。

コロナ感染の状況を考えたら、今年もとても開催は無理かと思えたが、開催となったのは担当48期の熱意と事務局のサポートはもとより、何より2年続けての中止では、黄城

会総会の存続自体が危ぶまれるという危機感が黄城会員全体に共有されたからだと思う。

令和3年5月3日「校旗入場」の声とともに、旧中・高女・新制高校の旗を23回生9名で手分けして、会場のホールに入場した。途中「校旗は卒業50周年23回生の皆さんの手により入場です。」のアナウンスが入り、ちょっぴり胸を張った。総会が始まって、会長挨拶の冒頭、会長さんから「今日は23回生に卒業50周年おめでとうの一言を言いにやってきました」の言葉があり、嬉しく聞いた。しかし、たくさんの同級生達と卒業50周年を祝うことができなかったのは、やはり残念だった。

私は後輩に語るべき実績もないが、なぜか黄城会にこだわりたい自分がいる。



同窓会役員 植樹桜の前で▶
(令和2年12月26日撮影)

◀同窓生による小城公園での桜の植樹作業
(令和2年11月1日撮影)



高校23回
生部 辰郎

高校時代を思い出していると美空ひばりの名曲「川の流れるように」を思わず口ずさんでいた。

♪知らず知らず歩いて来た 細く長いこの道 振り返れば遙か遠く故郷が見える♪

思えばこの3年間は人生の中でも最も楽しくロマンに満ちた日々であった。

東多久駅から汽車に乗り小城駅へ着く。深緑の公園を横切り徒歩10分程で懐かしい学舎に着く。

印象深い国語の授業の一つに5分

間スピーチがあり私は好きなハヤ釣りの話をした。近所の釣り師匠のおじさんから伝授された極意の技で1回で100匹程のハヤを釣り上げる話に教室中が盛り上がった。

体育祭では高い櫓を組み地域対抗戦での応援合戦に熱が入った。

剣道部に入り毎日の激しい稽古でやっと掴んだ玉竜旗大会での悔しい5人抜き負け。翌日は反省の五厘丸坊主となった事。

感受性も豊かで今でも胸に秘めた恋心。

修学旅行の旅館で遊んだ枕投げなど記憶の缶詰を開くと尽きない。

そして卒業して数十年ぶりに同期の仲間と再会することになる。関東

黄城会総会の世話役で召集がかかったのだ。待ち合わせ場所のハチ公前には既に数人の同級生がいた。戸惑いながら「あの〇〇君じゃろ」と再会に心が弾む。それからは毎年数回、懇親会や同期の会社の保養所巡りなど交友を深め合ってきた。

一昨年、佐賀から同期が上京し同窓会を行った。銀座での同窓会に続き翌日は東京湾クルージングや名所巡り、そして横浜観光を楽しむ。中華街での貸切部屋ではKさんの詩吟や小生のハーモニカで楽しい一時を過ごした。

ああ卒業して50年、川の流れがやがて大海に辿り着くまで、青春の日々を辿りながら仲間と共に人生を大いに楽しんで生きたい。



後輩からの一言

成長できた3年間

田中 甫（九州大学芸術工学部学科一括コース）

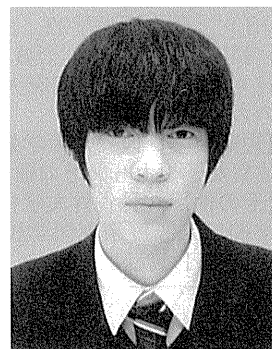
私は、この小城高校3年間の生活の中で様々な事を学ぶことが出来ました。中学生の時、勉強をすることを後回しにしてしまったので、高校受験の時にもっと勉強しておけばよかったと後悔しました。小城高校は進学校で勉学と部活動ともに盛んと聞いていたので、ここの高校に入って活動を頑張ろうと思いました。

小城高校に入学してからは、質の高い授業や先生方のご指導、放課後や休日の友人たちとの勉強などで着実に学力をつけていくことが出来ました。学年が上がって受験勉強の対策が始まると、一気に勉強のハードルが上がり、なかなか思うように成

績が伸びなくなってきました。特に3年になってからは放課後特課が始まり、勉強に対しての辛さもかなり大きくなりました。しかし、周囲の人たちも着実に成果を上げているのを見て、自分も負けてはいられないと思い、最後までモチベーションを保ち続けることが出来ました。また、二次試験の勉強では先生方の助けを借りて進めました。難問が多く、一人では対応できないものもありましたが、熱心なご指導のおかげで最後まで力をつけていくことが出来ました。助けて下さった先生方や友人には感謝しています。

試験本番では過去問演習の時のよ

うにうまくいきませんでした。これまで身につけてきた学力を発揮できたと思います。私は最初から第一志望校であった九州大学に無事合格することができ、芸術工学部学科一括コースに進学することになりました。春からは大学生活の中でこの3年間で学んできたことを生かしつつ、新たな目標を見つけそれに向かって日々頑張りたいです。



先生方に感謝

金丸晃子（広島大学法学部法学科）

私は高校選択の際、もう一つの志望校と小城高校、どちらを受けるか散々悩んだ末に、小城高校を選びました。そして今、3年間で振り返ってみて、小城高校に入学して良かったと、心から思います。特に先生方の有難さを深く感じています。

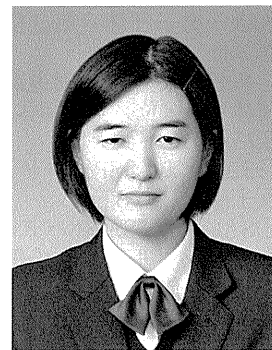
私が先生方に本当に感謝するようになったのは受験が本格的になった3年生の後半です。私は大学選択や学部選択について、受験ギリギリまで迷っていました。それに対しては、主に担任の先生が昼休みなどの時間を割いて相談にのって下さいました。

また、大学の二次対策の際は、受験に必要な国語と英語の過去問や英作文の添削を行って下さいました。私以外にも添削を頼む生徒はたくさんいたはずなのに、赤ペンでびっしりアドバイスが書かれて返却された解答用紙を見て、感動しました。それと同時に、教師という職業がどれだけ大変かを改めて感じ、尊敬しました。

お世話になった先生方、本当にありがとうございました。小城高校で身に付けた知識を土台に、これから進学する広島大学でさらに学んで、

様々な経験を積んでいきたいと思っています。

また、黄城会の方々には、奨学金のご支援を頂きました。奨学金は塾の費用や参考書の購入などに使うことができ、とても助けられました。本当にありがとうございました。



合格だ！優勝だ！

令和2年度
学業報告・部活動の成績

合格状況 ()内は過年度卒

【国立大学】 広島大学1 / 山口大学1 / 愛媛大学1 / 九州大学1 (1) / 九州工業大学 (1) / 福岡教育大学2 / 佐賀大学35 (2) / 長崎大学4 / 熊本大学2 (1) / 大分大学1 / 宮崎大学6 / 鹿児島大学1

【公立大学】 公立鳥取環境大学1 / 北九州市立大学5 / 長崎県立大学8 / 名桜大学1

【私立大学】 帝京大学4 / 東海大学3 / 日本大学 (1) / 法政大学 (1) / 同志社大学2 / 立命館大学 (1) / 龍谷大学9 / 関西学院大学2 / 広島修道大学2 / 九州共立大学2 / 九州産業大学15 (2) / 九州女子大学1 / 久留米大学64 / 西南学院大学7 / 第一薬科大学1 / 筑紫女学園大学2 / 中村学園大学5 / 福岡大学30 (5) / 福岡工業大学15 (3) / 西九州大学32 / 長崎純心大学1 / 長崎国際大学1 / 崇城大学3 (2) / 日本文理大学2 / 別府大学2 / その他の大学34 (3)

【短期大学】 西九州大学短期大学部3 / 佐賀女子短大6 / その他の私立短大8

【その他】 文科省外大学校1 / 高等看護学校17 / 医療系専門学校11 / その他専門学校11 / 就職3

部活動の成績

【体育部】

1.柔道

OSAGA2020SSP杯佐賀県高等学校スポーツ大会 / 女子団体 第3位 / 女子個人 優勝 大坪夕葉 / 女子個人 第2位 江口楓・荒巻絵梨奈 / 女子個人 第3位 江口美羽・篠原百香・園田真弓 / 文部科学大臣賞 大坪夕葉 / スポーツ庁長官賞 江口楓・荒巻絵梨奈
○令和2年度佐賀県高等学校新人体育大会 / 女子団体 第2位 / 女子個人 優勝 大坪夕葉・江口美羽 / 女子個人 第2位 光武千佳・池田萌恵

○第43回佐賀県高等学校選手権柔道大会 / 女子個人 第2位 大坪夕葉 / 女子個人 優勝 江口美羽 / 女子個人 第2位 光武千佳 / 女子個人 第3位 池田萌恵

2.剣道

○第71回佐賀県東部地区高等学校剣道大会 / 男子団体 第3位 / 男子個人 第3位 田中岳大

○佐賀県高等学校剣道錬成大会 / 男子団体 第3位 / 女子団体 第3位

3.バドミントン

OSAGA2020SSP杯バドミントン競技 / 女子団体 第3位

OSAGA2020SSP杯バドミントン競技 / 女子シングルス 女子個人 第3位 中村希乃佳

OSAGA2020SSP杯バドミントン競技 / 女子ダブルス 女子個人 第3位 尾形

志帆・松門愛弓 / 今泉美玖・古賀まな美
○第47回高校新人大会 / 女子団体 第3位

○第45回高校生学年別大会 / 第1学年の部 女子個人 第3位 古賀まな美

○第45回高校生学年別大会 / 第2学年の部 女子個人 第2位 松門愛弓

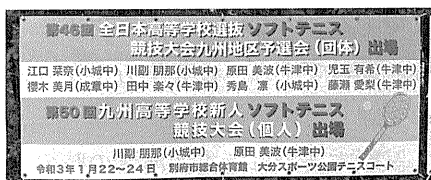
○模範競技者賞 / 中村希乃佳

4.ソフトテニス

○佐賀県高校新人ソフトテニス選手権大会 / 女子団体 準優勝 ※九州大会出場 / 女子個人ベスト8 川副朋那・原田美波 ※九州大会出場

○佐城地区秋季ソフトテニス大会 / 女子団体A 優勝 / 女子団体B 第3位

○佐賀県秋季ソフトテニス選手権大会 / 女子個人 第3位 川副朋那・原田美波



ソフトテニス部

5.水泳

OSAGA2020SSP杯水泳競技男子1500M自由形 / 男子個人 第3位 松本力輝

○第1回佐賀県高校水泳大会兼第1回佐賀県高校新人戦 / 男子400M自由形 男子個人 第3位 松本力輝

○第15回佐賀県冬季水泳競技大会 / 男子400M自由形 男子個人 第2位 松本力輝

6.馬術

○第2回桜花HORSE SHOW 2020 / 第2競技小障害飛越競技 L級B 3位 志田朱音 / 第9競技小障害飛越競技 L級A 優勝 志田朱音

7.アーチェリー

○令和2年度佐賀県高等学校新人体育大会 / 男子個人 第1位 岩永航河

【文化部】

1.書道

○第28回佐賀県書道展 / 新人賞 松尾美冬

○第72回佐賀県高等学校席書大会 / 特選 (臨書の部) 中島葵・福富こころ・香月彩愛・古瀬愛梨・森七星

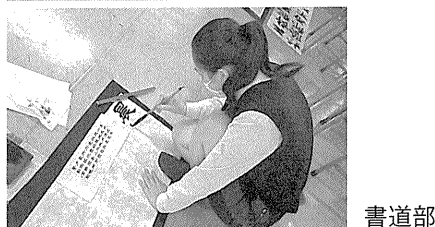
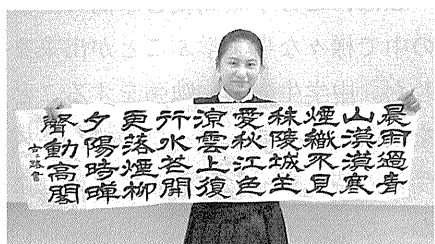
○第48回七夕書道展 / JA共済連佐賀賞 廣瀬由佳

○第19回全国書道展 / 準大賞 (特別賞2席) 樋渡彩乃 / 佐賀県教育委員会教育長賞 福富こころ

○第32回佐賀県高等学校総合文化祭書道部門 / 特選 福富こころ・香月彩愛・江嶋美咲・森七星

○第44回全国高等学校総合文化祭 / 文化連盟賞 相島沙也香

○第4回全九州高等学校総合文化祭熊本大会 / 九州高等学校文化連盟賞 福富こころ



書道部

2.吹奏楽・合唱

○第44回全国高等学校総合文化祭 / 文化連盟賞 (吹奏楽部門) / 文化連盟賞 (合唱部門)

○第32回佐賀県高等学校総合文化祭合唱部門 / 奨励賞

○第32回佐賀県高等学校総合文化祭合唱部門佐賀県高等学校合同合唱団 / 奨励賞

○第32回佐賀県高等学校総合文化祭吹奏楽部門 / 奨励賞

3.美術

○第73回佐賀県高等学校スケッチ大会 / 特選 江里口萌香 準特選 小石匠・山口愛可

○第32回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸展 / 特選 馬渡莉央・田中晴奈 / 佳作 江里口笑花・野口蒼太・江里口夏海

○第59回佐賀県高等学校デッサンコンクール / 準特選 有浦弥玖 / 奨励賞 百武沙季

4.放送

○令和2年度佐賀県高校放送コンテスト夏季大会 / 奨励賞 横町侑花・三瀬稀凡

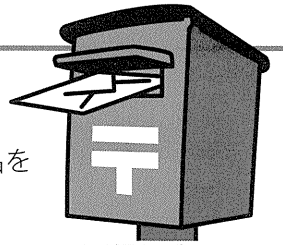
○第44回佐賀県高校放送コンテスト優良賞 三瀬稀凡 ※九州大会出場 / 奨励賞 江口望乃佳 総合第2位 (団体)



放送部

投稿

新聞紙上などに発表されている方の作品を披露させていただきます。



黄城会文芸欄

川柳

井手 良祐(高校十二回 小城市)

大還暦超えた母校の楠青く (注…大還暦…百二十歳)

AIが欲しいと思う物忘れ

乙女座の妻の乙女が遠くなる

カーナビは教えてくれぬ人の道

過去形が笑い話にしてくれる

人生はマラソン今日も向かい風

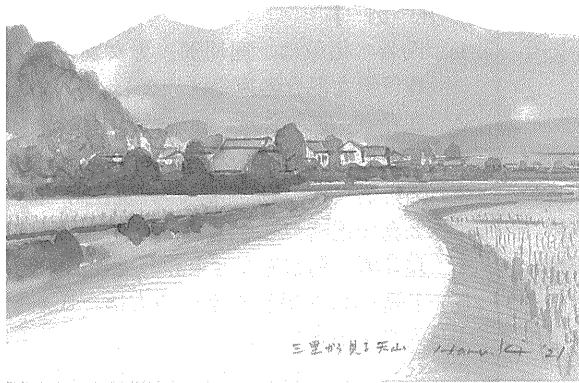
すすすくとやがて大樹になる寝顔

晴天の今日はハートの天日干し

風化した話に弾むクラス会

リスクとも読めるクスリの裏表

前向きに生きてペースは崩さない



短歌

太田 幸江(高校十四回 唐津市)

午前二時ダム放流のサイレンが

豪雨の里の闇をつらぬく

角を曲がる前からかすか香りくる

神社の藤は多分満開

言いました聞いていないで始まりし

一悶着は日常茶飯事

記憶にはいつも忙しき後ろ手の

亡母の歳越え喜寿となりたり

剪定を漸う仕舞いたる夫が

寝転び華胥の国に遊べり

俳句

福地 由親(高校二十二回 小城市)

春愁や大志半ばに古稀となり

大家族真つ白に干す夏が来る

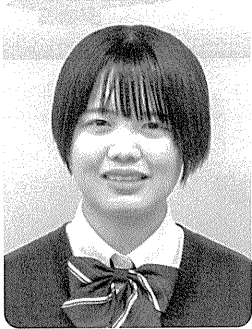
新涼や羊目覚める大草原

虹二重暴風圏の村ひとつ

手に抱けば危ふし孫の初笑ひ

被爆者の思いを伝える

第24代高校生平和大使（佐賀県第10代目）
小城高等学校2年 滝本 遥さん（剣道部）



初めまして。第24代高校生平和大使になりました滝本遥です。

私は小学6年生の時の修学旅行で長崎原爆資料館を訪れ、被爆した街や人に關する展示を觀て大きな衝撃を受けました。それがきっかけで戦争や平和に興味を持ち、自分の抱く平和への思いを言葉だけで終わらせず、行動に移したいと思い応募に至りました。

コロナ禍ということもあり、前年度に引き続きスイスの派遣等も厳しくなっています。かなり活動範囲が狭まるであろう今年度。前年度の大使の方が開設してくださったインスタグラム等を引き継ぎ、コロナ禍だからこそ出来ることをこれから模索し行動に移していけたらと思います。

私たち若者が、戦争や平和について触れ伝承する機会を多くつくり、これから1年間、全国の平和大使・署名活動メンバーと協力して今までの大使の方々が培ってくださったものをしっかり受け継いで、更によりものになるよう活動していきます。今後、本校でも署名活動等様々な活動を行う予定です。何卒ご協力宜しくお願い致します。

お知らせ

黄城会会員名簿改訂（第10号 A4サイズ 令和4年中に発行予定）

平成12年3月第9号発行以来、21年間改訂していません。母校創立120周年経過を期して改訂を計画します。

- ◇印刷依頼先は、第9号発行まで関わった(株)音成印刷に依頼したい。
- ◇4月に、8月までに企画書の作成を(株)音成印刷に依頼。
- ◇9月末までに企画書の内容を詰めて改訂作業を進めたい。

【凡例】

- 1 氏名の掲載は、回期別・男女別に50音順に掲載。現行は男女混合名簿で区分なし。
- 2 在存者、推薦会員、物故者のすべてを掲載。ただし、物故者は氏名のみを掲載。
- 3 旧姓名(新姓名)・郵便番号・現住所・電話番号・勤務先・勤務先電話番号を記載。
- 4 現住所・勤務先など未詳の場合は空欄。
- 5 名簿への非掲載を希望の方は、氏名を含めた全ての内容を掲載しない。
- 6 併設中学校は、1回生は高校3回生に、2回生は高校4回生の欄に記載。

お知らせ

令和3年度 支部総会予定日

予定の変更があれば、その都度黄城会のホームページに掲載しますのでご確認ください。

支部名	予定日	連絡先	電話
関東	令和3年 8/22(日)	幹事長 (高20) 光石 信幸	043-250-6539
中京	中止	事務局長 (高40) 堤 淳	090-1728-1894
関西	中止	事務局長 (高20) 内田 敏博	0774-63-6271
関門・北九州	未定	支部長 (高29) 山口 孝美	080-3182-0346
福岡	未定	幹事長 (高26) 古賀 省吾	090-8669-4023

支部名	予定日	連絡先	電話
長崎	未定	事務局長 (高10) 大石 太	090-6774-1144
佐賀	中止	事務局長 (高22) 徳久 英二	090-9578-4672
唐津	令和4年 2/6(日)	事務局長 (高43) 濱村 宜弘	080-1725-4591
多久	未定	事務局長 (高46) 川渕 理	090-1083-5846
県庁	未定	幹事長 (高35) 塚原 弘幸 (県土企画課)	0952-25-7538

令和2年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧 (敬称略)

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的にした事業を行っておりますが、建築後33年目の黄城教育会館の維持管理及び将来の改修費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をお願いしましたところ、(329口) 2,705,000円のご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご協力いただいた寄付金につきましては、お願いした趣旨ののり有効に活用させていただきます。

ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞご協力賜りますようお願いいたします。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

(旧中40) 野副 繁	浜田(渡瀬)幸子 (高校6)	家永(鶴田)寿美子 佐々木(徳永)祐里子	深江(伊東)満子 佐久間(岩松)千代子	深川 義隆 山下 拓治	江口(北島)八千代 小野(小柳)信子	井手(音成)真喜子 井上(森)典子
(旧中42) 於保 實美	相川 直昭 秋 吉成 恭	渡邊(中島)由美子 森 永廣江	井上(北島)そめよ 吉村(野村)泰子	吉田 紘二郎 田中(池田)正枝	田中 敏子 (高校23)	(高校30) 吉谷 弘城(寺崎)仲子
(高女16) 水田(木原)スミ子	[故]木戸 貞男 古賀 弘毅	(高校9) 今泉 茂太 金丸 盛登	江口(光石)洋子 松隈(横尾)雅子	小原 鶴子 (高校18)	池田 雅好 江頭 朋彦	(高校32) 大坪 敏郎
(高女21) 増田(陣内)清子	小柳 新平 佐久間 穰	上坂 義重 東郷 信行	相原 秀人 坂口 捷哉	吉次(豆田)悦夫 松田(堤)眞理子	大家 保幸 緒方 和義	(高校33) 匿名希望 1人
(高女22) 中西(古賀)潔子	陣内 寛 平山 哲也	納富 敏 米満 正夫	鶴本 勝美 中尾 久司	(高校19) 片測 伸行 川副 陽介	中尾 康彦 宮崎 公彦	(高校36) 山脇(笠原)光
(高女27) 高柳(水田)徳子	[故]的野三千夫 吉田 昭夫	梅崎(清水)克代 土井(飛石)恭子	永山 重隆 陣内(田代)俊子	堤 成太郎 友永 哲三	森 永良則 山下 哲夫	(高校37) 北川(小林)里子
(高校2) 有浦 次海	吉九 尚真 吉村 久夫	匿名希望 1人 (高校10)	福山(谷口)ミドリ 古川(永野)悠紀	中島 國博 永 潤 勉	友永 哲三 中島 國博	(高校38) 仁木(黒岩)朋子
竹中 義弘 (高校3)	牟田口(荒巻)節子 吉村(江口)藤子	大石 太 [故]大橋国光	石隈 一彦 徳勝 秀俊	永 潤 勉 百武(水田)好光	友永 哲三 中島 國博	(高校39) 野田 益弘
相原 一郎 内野 正久	萩野(坂口)惇子 江口(坂口)昭代	岡本 壽夫 梶原 達夫	榎崎 進 深町 宗孝	川崎(土井)幸江 山村(藤岡)たく子	友永 哲三 中島 國博	(高校40) 東島 純一
寺江(川原田)法子 福島(高塚)那智子	関(城島)真由美 木下(武富)敏江	岸川 英俊 木下 謙次	福井 直大 水田 紀昭	大塚(藤原)恭子 匿名希望 1人	南里 芳幸 野上(川崎)久美子	金子(志波)美里 諸石(溝口)順子
鈴木(松田)千鶴子 古賀(真子)育子	(高校7) 佐々木 昇三 野口 守夫	古賀 政利 新郷 道明	飯谷(横尾)秀子 (高校15)	匿名希望 1人 (高校20)	柴田(塚原)春美 永 潤(原)幸子	杠(森永)孝子 宮井(吉田)宏子
千葉(宮崎)直子 吉村 マサ子	古川 倭夫 松瀬 繁	竹田 雅彦 田中 嘉典	山崎 良允 大塚(石丸)博子	荒原 敏雄 江口 幹郎	永 潤(原)幸子 (高校24)	(高校40) 荒川 好子
(高校4) 青柳 成美	水田 和憲 山田 正信	堤 恒久 西岡 孝彦	飯谷(横尾)秀子 (高校15)	岡田 修三 川久保 悟	藤本 富男 西村(田中)由紀子	飯盛(古賀)裕美 匿名希望 1人
江頭 駿治 江里口 勲	吉島 大策 川井(有村)淳子	野口 武彦 松枝 修三	石本 勝昭 板垣(牛丸)修	木崎 善行 岸川 宗一郎	西村(田中)由紀子 (高校25)	(高校41) 飯盛 宏徳
古賀 寛 古賀 渡	森永(岡)キヌ子 西川(久保)行代	松永 政治 水田 要	糸山 喜昭 七田 義孝	北島 和道 古賀 哲次	永 潤(原)幸子 (高校24)	(高校42) 山崎(黒岩)史子
瀬戸口 信一郎 副島 光雄	西川(久保)行代 小林(公文)了子	溝口 武夫 牟田口 博司	陣内 由晴 豊田 俊明	佐藤 幸雄 南里 一夫	川村(松永)久美子 (高校26)	橋本(糸山)祐子 (高校43)
久保(相川)洋子 小柳(石井)孝枝	山口(鳥越)道恵 中村 嘉子	牟田口 博司 松尾(荒谷)ヒロ子	中野(淵田)正人 真鳥 照男	西田 幸博 深川 寛	内海 唯史 川副 春海	橋村 正之 濱村 宜弘
尾形(井上)節子 西(川俣)智子	西山 富子 (高校8)	太田(川原田)京子 森(野田)博子	持永(真子)正彦 久保(荒木)富子	藤川 秀行 外尾 美好	藤(大野)きみ子 辻(川副)直子	松本 智弘 (高校44)
[故]陣内彌生 (高校5)	安藤 清隆 池田 義實	(高校11) 野口 武男 久本 哲義	田中(音成)和子 中島(北村)要子	本村 光節 盛口(山本)紀文	橋本(笹川)秀子 田中 伸子	淵上 史貴 (高校47)
相澤(袋)昭彦 池田 庫久	井上 克己 今熊 孝志	兵動 利行 藤尾 秀治	岡田(宮崎)裕子 (高校16)	吉本 祥二 和田(卯野木)邦子	矢野(田中)律子 伊原(野口)逸子	[故]岡田良一 (高校50)
伊東 研二 江里口 雅正	江口 勝博 大野 雅央	真子 輝雄 溝口 一信	梅崎 茂弘 江里口 勉	川辺(円城寺)直子 合瀬 さゆり	福田(鷲頭)智恵子 (高校27)	森 隆行 (高校66)
川副 富男 七田 良夫	黒岩 邦弘 瀧川 晴雄	大木(牛島)昭子 倉永 寿子	古賀 紀昭 高木 靖哉	原田(野口)京子 長尾(藤田)恵子	永田(林田)由美 生田(平安寺)暢子	濱村 武志 (高校67)
城島 紀夫 杉原 敬人	七島 義人 西村 長生	稲益(野方)一子 井本(森永)ツネ子	田中 哲也 福田 昭春	岡田(渡辺)美知子 (高校21)	田中 剛生 寺西(井手)秀佳	濱村 風沙 (他)
高木 修博 立石 博	西山 俊幸 乘富 智美	(高校12) 井手 良祐 大島 文雄	船津 稔 豆田 泰夫	小宮 泰敏 田中 政敏	今泉 真由美 平川(大橋)秀子	匿名希望 1人 (回期・住所不明)
井元 翠子 松本(北島)久子	秀島 寛美 森 俊之	井手 良祐 大島 文雄	陣内(岡島)美佐子 倉元(野口)サエ子	富岡 逸郎 福地 孝司	井手(鶴)美保子 (高校29)	
吉光(北島)房恵 藤井 貞子	吉富 徹夫 井手 愛子	沖田 極 小島 吉晴	(高校17) 石井 隆 斉藤 清一郎	福本 村豊 藤瀬(石丸)都子	岡島 聡 坂井 秀明	
堤(三好)澤子 成田(山下)博子	吉村(犬山)米子 大野(於保)富子	林 義人 麻田(池上)満代	西山 祐三郎 原 田 元彦	関(江島)和子 山北(川内丸)郁子	雪竹 稔 久本(江原)淳子	

令和3年度黄城会役員一覧

▷会長=外尾美好(高20)▷副会長=古賀正人(高24)川副春海(高26)井手美保子(高28)▷顧問=平川聡(校長)高尾和範(教頭)紀伊あけみ(事務長)▷理事=川副富男(高5)佐々木昇三(高7)大野雅央(高8)金丸盛登(高9)牟田口博司(高10)真子輝雄(高11)小柳平一郎(高12)中尾久司(高

13)青柳隆(高14)七田義孝(高15)梅崎茂弘(高16)松尾剛之(高17)野田和良(高18)江口武(高19)野田豊秋(高20)坂井正徳(高21)坂井一弥(高22)南里信幸(高23)横尾俊彦(高27)岡正幸(高30)安永正(高31)伊東猛彦(高32)水田信(高33)松尾直人(高35)西岡聖師(高36)梶原聖司(高37)

北島清孝(高38)香川弘行(高39)高塚誠(高40)飯盛宏徳(高41)野田一彦(高42)西田亮(高43)洲上史貴(高44)徳重隆仁(高45)吉次篤司(高46)梶原泰宏(高47)▷監事=福田智恵子(高26)雪竹稔(高29)真崎俊夫(高34)▷事務局長=北島治樹(高20)▷庶務=山崎史子(高41)▷会計=田代智子

支部役員一覧

【関東支部】▷支部長=本村清人(高17)▷副支部長=村上徹(高19)井手勇人(高31)▷幹事長=光石信幸(高20)▷事務局長=川副隆之(高32)
【中京支部】▷支部長=力武勉(高17)▷副支部長=梅谷雅和(高17)中嶋桂子(高25)▷事務局長=堤淳(高40)▷事務局次長=吉田了(高43)▷会計=真子博行(高39)
【関西支部】▷支部長=深川義隆(高17)▷副支部長=南里種司(高20)岡本正史(高27)▷事務局長=内田敏博(高20)

▷事務局次長兼会計=森山栄子(高31)
【関門・北九州支部】▷支部長兼事務局長=山口孝美(高29)
【福岡支部】▷支部長=南川武夫(高10)▷副支部長=堺八千代(高25)▷幹事長=古賀省吾(高26)▷副幹事長=小林佐登子(高33)▷監査役=辻正人(高12)
【長崎支部】▷支部長=古川正人(高8)▷事務局長=大石太(高10)
【佐賀支部】▷支部長=江里口勉(高16)▷副支部長=梶原千尋(高5)金丸盛登

(高9)宮原史枝(高15)東島慶次郎(高16)▷事務局長 徳久英二(高22)
【唐津支部】▷支部長=鮎川正博(高28)▷副支部長=永淵明則(高16)▷事務局長=濱村直弘(高43)
【多久支部】▷支部長=梅崎茂弘(高16)▷副支部長=牛島和廣(高17)飯守康洋(高24)▷事務局長=川淵理(高46)
【県庁支部】▷支部長=神代芳男(高32)▷幹事長=塚原弘幸(高35)

令和2年4月～令和3年3月までの物故者(敬称略)

(回期)氏名[住所]

(旧中)
(38)白濱 光夫[小城市](38)野口 多久馬[佐賀市](39)池田 利光[佐賀市](40)石盛 要[福生市](40)田島 長太郎[佐賀市](40)橋間 夏男[大和市](41)池田 直[福岡市](41)村岡 明和[佐賀市](42)森 茂敏[多久市](43)小川 恵造[国立市](43)南島 敏之[多久市](44)瀬山 敏[佐賀市](44)高岸 龍夫[佐賀市](46)宮島 清三[小城市]

(高女)
(16)牧瀬 田鶴子[小城市](19)木島 文子[糸島市](22)深町 貞子[小城市](22)池田 ツル子[小城市](23)伊富 貴 照子[神戸市](25)宮原 蒼生子[佐賀市](25)川副 峯子[佐賀市](25)石井 ノブ子[多久市](27)佐藤 徳子[多久市]

(高校)
(2)武富 義尚[佐賀市](3)草野 幸子[直方市](4)今泉 三生[唐津市]

(4)岡 正章[大阪市](4)深川 光博[小城市](4)吉武 シズエ[各務原市](5)江口 義郎[杵島郡](5)真子 忠敏[小城市](6)木戸 貞男[神戸市](6)的野 三千夫[横浜市](7)小野 一哉[佐賀市](7)木下 富士子[多久市](8)大園 勇[小城市](8)早田 法玄[神埼郡](8)牧瀬 義隆[神戸市](8)石井 小夜子[大田区](8)江里口 和子[堺市](9)野中 泰[愛知郡](9)山崎 禎昭[横浜市](10)大橋 国光[佐世保市](10)平佐田 隆[八王子市](10)陽山 勇雄[神埼郡](10)力武 玲子[福岡市](10)山田 嘉子[小城市](11)岡本 勇[神戸市](11)真子 茂弘[小城市](13)坂井 昭次[多久市](13)本村 敏光[佐賀市](15)井手口 龍[小城市](15)南川 勝彦[住所不明](15)吉岡 敏彦[糸魚川市](16)船津 稔[千葉市](17)武富 義治[小城市](17)川島 満恵[多久市](17)佐々木 満智子[流山市](17)坂本 政子[小城市](17)山田 孝子[佐賀市](18)野田 安久[佐賀市](19)副島 一男

[小城市](19)納富 健一[佐賀市](19)松瀬 憲治[越谷市](20)片倉 輝久雄[佐賀市](20)土橋 武夫[武雄市](22)八田 惇子[佐賀市](26)森永 俊徳[小城市](29)坂井 和江[小城市](30)柿川 正志[住所不明](37)中島 敦[小城市](37)平川 幸隆[小城市](49)笹川 知子[多久市]

(定時)
(本定10)中村 健一[小城市]



一般寄付金

(令和2年4月～令和3年3月)

故 永池 隼人様(高校8回)の奥様 10,000円/高校40回一同様 5,000円

ご寄付いただきありがとうございました。

令和3年度 黄城会本会計予算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(収入)		比較増減		備考	
No	目	令和3年度	令和2年度	比	備
1	会費	5,000,000	5,000,000	0	
2	入会金	2,113,200	2,260,800	▲ 147,600	在校生より入会金(587人×300円×12月) (1年200人、2年200人、3年197人)
3	会員寄付金	1,000,000	1,000,000	0	
4	一般寄付金	50,000	50,000	0	
5	雑収入	10,000	10,000	0	預金利息等
6	繰入金	0	0	0	特別会計 基本金積立金より
7	繰越金	5,293,707	3,608,719	1,684,988	前年度より
	合計	13,466,907	11,929,519	1,537,388	

(支出)		比較増減		備考	
No	目	令和3年度	令和2年度	比	備
1	会報発行費	700,000	700,000	0	
2	黄城会入会費	100,000	110,000	▲ 10,000	卒業生への記念品代
3	支部活動助成費	234,000	230,000	4,000	全国9支部へ
4	回期活動助成費	60,000	70,000	▲ 10,000	高23回～高49回の各回期へ
5	会費徴収費	1,800,000	1,800,000	0	会費・会員寄付金案内書、振込手数料
6	会議費	250,000	250,000	0	理事・監事会、評議員会
7	母校職員援助費	20,000	20,000	0	職員歓迎会祝儀
8	支部関係渉外費	900,000	900,000	0	支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費
9	慶弔費	50,000	50,000	0	卒業50周年記念品料ほか
10	(一財)黄城教育会館補助金	3,000,000	3,000,000	0	(一財)黄城教育会館へ運営費として
11	基本金	1,000,000	1,000,000	0	会費寄付金
12	運営積立金	50,000	50,000	0	
13	名簿積立金	50,000	50,000	0	
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0	
15	消耗品費	100,000	100,000	0	事務用文具等
16	通信費	250,000	250,000	0	電話料、郵送料、インターネット回線等
17	事務委託費	300,000	300,000	0	システム開発
18	賃借料	440,000	440,000	0	PCソフトウェア、メンテナンス料
19	雑費	100,000	100,000	0	
20	予備費	50,000	50,000	0	
	合計	9,504,000	9,520,000	▲ 16,000	
	次年度繰越金	3,962,907	2,409,519	1,553,388	

令和2年度黄城会本会計決算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(収入)		比較増減		備考	
No	目	当初予算額	収入額	比	備
1	会費	5,000,000	3,760,000	▲ 1,240,000	会員1,332口より(令和2年度納入分)
2	入会金	2,260,800	2,260,800	0	在校生628人より
3	会員寄付金	1,000,000	2,705,000	1,705,000	会員329口より
4	一般寄付金	50,000	37,600	▲ 12,400	高校8回卒業生(人)縁組10,000円、高校10回5,000円ほか
5	雑収入	10,000	850	▲ 9,150	預金利息等
6	繰入金	0	0	0	
7	繰越金	3,608,719	3,608,719	0	前年度より
	合計	11,929,519	12,372,969	443,450	

(支出)		比較増減		備考	
No	目	当初予算額	支出額	比	備
1	会報発行費	700,000	622,583	77,417	11,950部
2	黄城会入会費	110,000	111,820	▲ 1,820	卒業生への記念品代
3	支部活動助成費	230,000	225,400	4,600	全国9支部へ(1,342人分)
4	回期活動助成費	70,000	60,300	9,700	高22回～高48回の各回期へ(603人分)
5	会費徴収費	1,800,000	1,798,755	1,245	会費・会員寄付金案内書、振込手数料
6	会議費	250,000	16,595	233,405	理事・監事会、評議員会
7	母校職員援助費	20,000	20,000	0	小城高等学校へ
8	支部関係渉外費	900,000	0	900,000	支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費
9	慶弔費	50,000	20,000	30,000	卒業50周年記念品料
10	(一財)黄城教育会館補助金	3,000,000	3,000,000	0	(一財)黄城教育会館へ運営費として
11	基本金	1,000,000	0	1,000,000	
12	運営積立金	50,000	50,000	0	
13	名簿積立金	50,000	50,000	0	
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0	
15	備品購入費	140,000	134,750	5,250	PC更新費用
16	消耗品費	100,000	94,146	5,854	事務用文具等
17	通信費	250,000	237,651	12,349	電話料、郵送料、インターネット回線等
18	事務委託費	300,000	231,000	69,000	ホームページ改訂費用
19	賃借料	440,000	341,472	98,528	PCソフトウェア、メンテナンス料
20	雑費	100,000	14,790	85,210	小城高校卒業アルバム、振込料、名刺
21	予備費	50,000	0	50,000	
	合計	9,660,000	7,079,262	2,580,738	
	次年度繰越金	2,269,519	5,293,707	3,024,188	

令和2年度(第9期) 一般財団法人黄城教育会館正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科	目	令和2年度予算	令和2年度決算	備	考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
	基本財産運用益	5,000	1,700		
	基本財産受取利息	5,000	1,700		基本財産定期預金利息
	事業収益	100,000	135,400		
	会館使用料	100,000	135,400		光熱水費使用費分
	受取補助金等	6,000,000	6,000,000		
	運営費補助収入	6,000,000	6,000,000		黄城会、小城高等学校教育振興会
	雑収入	6,000	1,534		
	受取利息	1,000	14		預金利息
	雑収入	5,000	1,520		コピー料
	経常収益計	6,111,000	6,138,634		
(2) 経常費用					
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000		小城高等学校奨学生(12名)
	管理費	8,560,000	7,430,795		
	給料手当	2,500,000	2,371,376		職員2名分
	法定福利費	30,000	21,936		雇用保険料
	消耗品費	195,000	85,253		文具代、コピーカウンタ料等
	燃料費	120,000	23,984		ガス代、白灯油代
	光熱水費	1,000,000	522,490		電気料、水道代
	修繕費	100,000	0		
	通信運搬費	35,000	2,300		郵送料
	手数料	20,000	11,000		水質検査手数料
	賃借料	30,000	24,800		会館敷地使用料
	委託費	900,000	789,740		警備、電気保安、浄化槽管理等
	登記料	80,000	54,763		変更登記料
	火災保険料	140,000	147,820		
	減価償却費	3,400,000	3,368,539		
	雑費	10,000	6,704		プリンタ修理、収入印紙等
	経常費用計	10,000,000	8,870,795		
	当期経常増減額	△ 3,889,000	△ 2,732,161		
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
	経常外収益計	0	0		
(2) 経常外費用					
	固定資産除去損	0	0		
	経常外費用計	0	0		
	当期経常外増減額	0	0		
	当期一般正味財産増減額	△ 3,889,000	△ 2,732,161		
I 一般正味財産期首残高					
	一般正味財産期末残高	0	142,496,112		
II 指定正味財産増減の部					
	当期指定正味財産増減額	0	0		
	指定正味財産期首残高	0	0		
	指定正味財産期末残高	0	139,763,951		
III 正味財産期末残高					
	正味財産期末残高	0	139,763,951		

決算報告(財団)

令和3年度(第10期) 一般財団法人黄城教育会館予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科	目	令和3年度予算	令和2年度予算	備	考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
	基本財産運用益	5,000	5,000		
	基本財産受取利息	5,000	5,000		基本財産定期預金利息
	事業収益	100,000	100,000		
	会館使用料	100,000	100,000		光熱水費使用費分
	受取補助金等	5,500,000	6,000,000		
	運営費補助収入	5,500,000	6,000,000		黄城会(300万)、小城高等学校教育振興会(250万)
	雑収入	6,000	6,000		
	受取利息	1,000	1,000		預金利息
	雑収入	5,000	5,000		
	経常収益計	5,611,000	6,111,000		
(2) 経常費用					
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000		小城高等学校奨学生(12名)
	管理費	8,670,000	8,830,000		
	給料手当	2,500,000	2,500,000		職員2名分
	法定福利費	30,000	30,000		雇用保険料
	什器備品費	0	270,000		
	消耗品費	195,000	195,000		文具代、コピーカウンタ料、パソコン周辺機器購入
	燃料費	120,000	120,000		ガス代、白灯油代
	光熱水費	1,000,000	1,000,000		電気料、水道料
	修繕費	100,000	100,000		
	通信運搬費	35,000	35,000		郵送料
	手数料	20,000	20,000		水質検査手数料
	賃借料	30,000	30,000		会館敷地使用料
	委託費	900,000	900,000		警備、電気保安、浄化槽管理等
	登記料	80,000	80,000		変更登記料
	火災保険料	160,000	140,000		
	減価償却費	3,400,000	3,400,000		
	雑費	100,000	10,000		不用品処分料
	経常費用計	10,110,000	10,270,000		
	当期経常増減額	▲ 4,499,000	▲ 4,159,000		

❀ 「会費」 及び 「会員寄付金」 納入のお願い ❀

黄城会の「会費」及び「会員寄付金」の納入について、下記によりご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会費につきましては、皆さまの払い込みの利便を図るため、『ゆうちょ銀行（郵便局）』に加え、『全国のコンビニエンスストア』からも払い込みいただけるようにいたしております。お一人でも多くの皆さまにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

会費納入については機会あるごとにご協力をお願いしておりますが、なかなか納入が伸長せず黄城会の運営が危惧される状況になっておりましたので、平成27年度から会費とは別枠で会員寄付金のご協力をお願いして黄城会の事業を行うための経費に充てさせていただいております。

黄城会の目的である『会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与する』ための円滑な運営ができますよう、「会費」及び「会員寄付金」の納入について、会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、行き違いで、すでに今年度の会費及び会員寄付金を納入していただいた方に、納入のお願いが届きましたらご寛恕ください。

記

会費のご案内	会員寄付金のご案内
※終身会費納入済みの方、5年会費納入済みの方で5年経っていない方及び今年度に会費を納入されている方を除きます。	※今年度に会員寄付金を納入されている方を除きます。
①会費の区分 1年会費 2千円 5年会費 1万円 終身会費 5万円 ②会費の振込金融機関 1年会費（2千円）は、最寄りの『ゆうちょ銀行（郵便局）又はコンビニ』から振り込みをお願いします。 5年会費（1万円）又は終身会費（5万円）を振り込んでいただけたときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※『自動払い込み（口座振替）』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。	①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。 ②ご寄付いただいた方にはお礼状をお届けするとともに、当年度の寄付者名を翌年発行する会報誌上に掲載し、お礼を申し上げます。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。

「会費」 及び 「会員寄付金」 の納入状況

【会 費】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
口 数	1,446口	1,277口	1,332口
金 額	3,764,000円	3,690,000円	3,760,000円

【会員寄付金】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
口 数	347口	301口	329口
金 額	2,912,000円	2,572,000円	2,705,000円

『回期だより』回期だよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご高覧ください。

住所変更等の連絡のお願い

現住所を変更（改姓を含む）されたときは、黄城会事務局までご連絡をお願いします。その際には、卒業回期、旧姓もお知らせください。

『ゆうちょ銀行（郵便局）』から会費を振り込まれる方は、払込取扱票の通信欄をご利用ください。会員寄付金のみを振り込まれる方も同様をお願いします。

副会長・事務局長就任のごあいさつ



副会長 古賀 正人 (高校 24 回)

この度、黄城会副会長の大役を仰せつかりました高校24回卒の古賀正人と申します。

私達の黄城会は佐賀県下でも有数の歴史と会員数を誇る同窓会組織ですが、会員数の減少、会費納入率の低下、若い人達の同窓会離れなど、多くの課題を抱えながら活動が続けられているのが現状です。岩松前会長の後、会長に就任された外尾会長もその問題につきましても苦慮されている事と推察いたします。

身に余る役ではございますが、外尾会長のもと、黄城会発展の為、微力ではありますが全力で努めて参りたいと思います。会員皆様のご健勝とご活躍を祈念致しまして就任のご挨拶と致します。



副会長 井手美保子 (高校 28 回)

2001年、28回期同級生と黄城会総会の実行委員を務め、あれから20年。時の経つはやさを実感しています。理事としても20年が経過し、2020年より副会長に就任いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面による交流が制限され、私たちは閉塞感の中にいます。そんな中、「黄城会」という合言葉は不思議な繋ぎ役を担っている気がします。更なる会員相互の繋がりのため、微力ながら力を尽くしたいと思います。



事務局長 北島 治樹 (高校 20 回)

私は1997年(平成9年)4月から2007年(平成19年)3月迄の10年間、母校小城高校の美術科教諭として勤務しました。2001年(平成13年)からの6年間は黄城会事務局長も兼務しました。

当時は県内外の各支部総会にも参加させていただき大変お世話になりました。感謝申し上げます。それから10数年の月日が流れました。最近のコロナ禍もあり、黄城会も変化したようです。外尾新会長とは高校時代3年間同じクラスでした。

新体制発足に当たり微力ですが事務局のお手伝いをしています。高齢者になりましたので短い間ですが、よろしく願いいたします。毎年開催の黄城会総会冊子の後方に掲載される「青木繁と朝日」には年譜と共に「朝日」が黄城会所蔵になった経緯が述べられています。「朝日」は通常佐賀県立美術館に管理を委嘱していますが、黄城会と「朝日」がいつの間にか引き離され忘却の彼方とならないようにとの思いで私が作りました。このページは毎年引き継いでいただくよう、よろしく願いいたします。

事務員の一言



今年も我が家のツバメ達は巣立って行きました。

毎年、車庫にツバメが巣作りをするのですが、この時期になると思い出すのが長女が3歳の頃のこと。

「ツバメさんおはよう」が毎朝の日課になっていた長女が「宝物をみせてあげる」、にここを見せてくれた小さな手のひらに乗っていたのはツバメのたまごの殻でした。私も何度も通ったのに気にも止めなかった長女の「宝物」

急ぎ足で歩く私の後ろをゆっくり歩いてきて私が見落とした景色を教えてください。

そんな長女も2年前に小城高を巣立ち今は新しい環境で頑張っています。(田代)

